



令和8年度のテーマ『「はやま知」をもとに新たな未来を拓く』です。

<学校教育目標>

21世紀を主体的に生き抜く力を身につけた生徒の育成

<目指す学校像>

- (1)「友愛」心が響きあう温かい学校
- (2)「探求」共に学ぶ楽しさのある学校
- (3)「飛翔」健康的で活力のある学校

<目指す生徒像>

- (1)「友愛」豊かな感性を持ち、仲間を思いやれる生徒
- (2)「探求」自ら求めて学び、確かな学力を身につけた生徒
- (3)「飛翔」しなやかな心と体を持ち、夢に挑戦する生徒

<具現化のための「4つの教育活動の重点」>

- I：「友愛」→温かな協力・協働を育む交流（活動） 生徒会：挨拶・合唱・ボランティア等
- II：「探求」→確かな学力を育む授業 好学向上
- III：「飛翔」→豊かな心を育む奉仕
- IV：「連携と信頼」→地域や社会等との様々な連携

『 持続可能で質の高い学校経営 』

- <基本となる考え>
- 1 番目に「子どもの安全・安心」
 - 2 番目に「子どもの学習権の保障」
 - 3 番目に「1・2番以外の大事なこと」

23年目の葉山「ベクトルを1つにして」取り組みます。

「大人になるための学校として」

社会人としての基礎（知・徳・体の調和）を有し、これからの社会を主体的にたくましく生き抜く生徒の育成に努める。

○教職員個々の自発性と創造性を発揮しながら、学校経営の充実を図る。

- ・個々の前向きな発想を生かし、建設的な取組を充実させる。

○不易と流行を踏まえた教育活動を展開する。

- ・学校評価等を生かし、活動や取組の改善を図る。（PDCAサイクル等）
- ・ねらいとつきたい力を明確にして、行事や活動等に取り組んでいく。

○生徒をはじめ、保護者や地域の方々等を大切にした教育に取り組んでいく。

- ・「ここで学んでよかった」「ここで学ばせてよかった」という思いを持ってもらえるような教育を行う。